高校生と専門家によるオンライン座談会

兵庫県立須磨友が丘高等学校



3年 MA NY



令和3年12月24日(金) 家庭科: 澤田 幸江

須磨友が丘高校3年MAとNYです。よろしくお願いします。



須磨友が丘高校は各学年6クラスの総合学科の高校です。

総合学科の特徴は、120以上の多種多様な講座があることと、「自分でつくる時間割」です。

生徒は、校訓にある「知」「考」「行」につながる仕掛けがいっぱい詰まった取り組みから、将来のことや興味のあることを考えて、時間割をつくります。

私の時間割には、2年と3年で少人数講座が8科目ありました。4名で学んだ講座や20名ぐらいの講座で、1対1で教えていただけるところや 学習するたびに理解できたか確認してくれるので円滑に授業が進むことに魅力を感じています。

高校生と専門家によるオンライン座談会

高 兵庫県立 須磨友が丘高等学校



「総合的な探究の時間」クロスカリキュラム 「平安時代の暮らしを再現してみよう ~日本の文化・風習を伝えられる人に」

「食文化」特別授業 地元パン屋さんと「食」について考えよう!

これから、私たちが受講した2つの授業を紹介します。

1つめは 「総合的な探究の時間」の、地歴と家庭科のクロスカリキュラムで、

2つめは、「食文化」の特別授業 パン屋さんと「食」について考えよう!です。

高 兵庫県立 須磨友が丘 「総合的な探究の時間」クロスカリキュラム

高校生と専門家によるオンライン座談会

クロスカリキュラム探究6年目 本校の大切な取組のひとつ

3年生が10種類の クロスカリキュラムから選択 地歴歴史 と 家庭科



「平安時代の暮らしを再現してみよう ~日本の文化・風習を伝えられる人に」

クロスカリキュラム探究は、本校の大切な取組のひとつで、今年で6年目を 迎えました。

今年も3年生が10種類のクロスカリキュラムから選択しました。

私は、地歴と家庭科のクロスカリキュラム 「平安時代の暮らしを再現してみよう」 を選びました。

高 兵庫県立 須磨友が丘 「総合的な探究の時間」クロスカリキュラム

地歴·家庭科



「平安時代の暮らしを再現してみよう ~日本の文化・風習を伝えられる人に」

計画	テーマ	内容・展開
1	絵本から学ぶ平安生活	平安時代の歴史的背景にふれながら、絵本から平安貴族の暮 らし及び年中行事のひな祭りの由来を知る。
2	雛人形を飾ってみよう	お内裏様とお雛様、三人官女、右大臣、左大臣、小物類について理解を深める。(※ 事前に担当を決める)
3	現代の食事と平安時代 の食事の違い	貴族と庶民の食生活を比べる。現代の食生活(自分の食事) と比較し平安貴族の健康状態について理解を深める。
4	平安時代の食を再現	平安時代の食事や献立、レシピを調べ、調理する。
5	「十二単」について知ろう	明石市文化博物館の方に来校していただき、平安時代の暮ら しについて学ぶ。十二単の着付けのデモンストレーション。

この授業では、この表のように、「くらし」「食」「衣」などの分野に分け て、学びました。

絵本から平安の歴史背景を知り、暮らしをみんなで想像してみるところから 活動が始まりました。



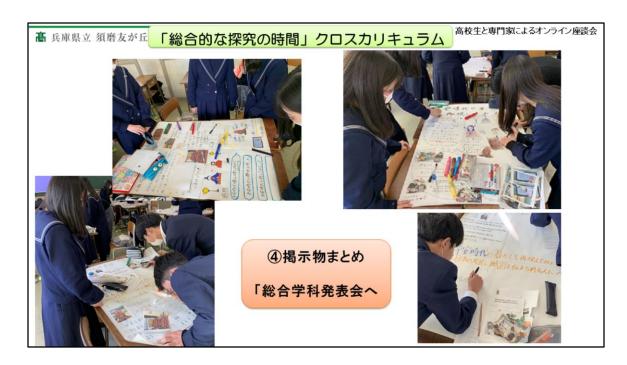
活動の様子です。

グループに分かれ、ひな人形をひな壇に並べてみました。全てが正解だった 班はありませんでした。

食の分野では、当時食べていたものを文献で研究し、中庭のつばきの葉を 使って 「つばき餅」をつくりました。

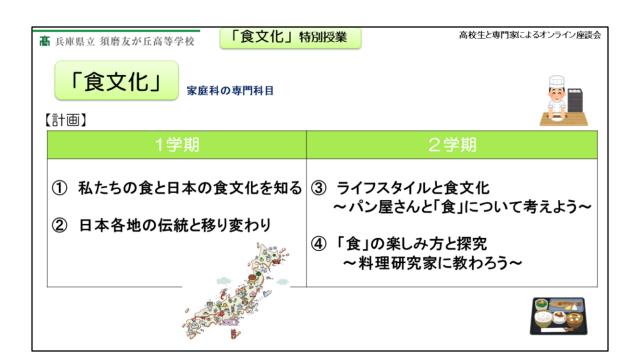
餅米にゆで小豆とあまづら風シロップを少し混ぜたお餅は優しい味でした。 それから、十二単の着付けの実演と解説をしていただきました。

*「あまづら」→平安時代の高貴な甘味料。ツタの樹液を使ってつくる。



授業の最期に学んだ事をグループに分かれて模造紙にまとめました。得た知識だけではなく、気づいたことや感想もたくさん書き込みました。平安時代の食文化がしっかりとまとめられたと思うので、

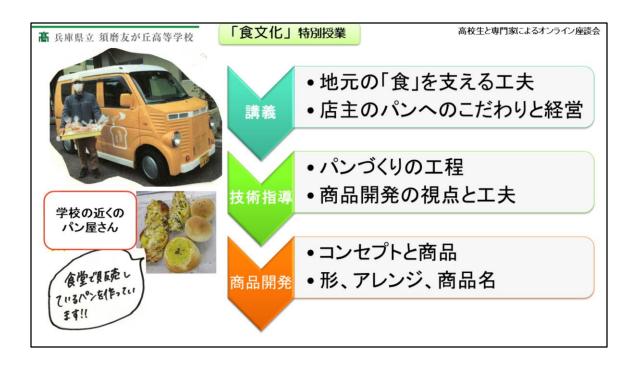
総合学科発表会で全校生に見てもらいって、現代の食文化と比べてほしいと思います。



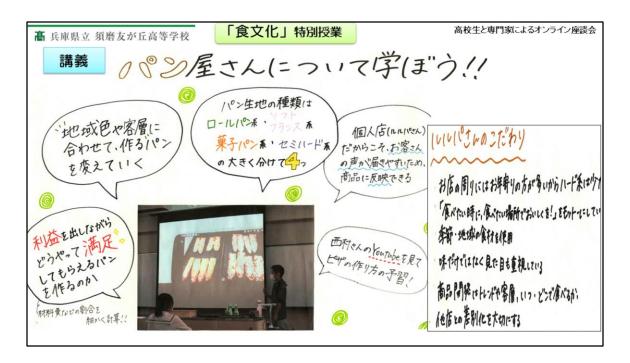
つぎは、「食文化」の取組です。

この授業では、

日本の食文化を学んでいます。今年は、パン屋さんに来ていただき、外食産業にも目を向けて学びました。



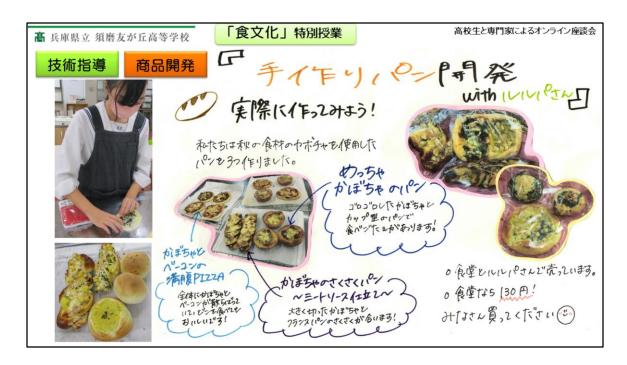
今回紹介する特別授業は、全8時間の取組でした。選択生徒は6人です。 講義、技術指導、商品開発のステップで、2人1組になり3種類の商品を提案しました。



講義で

地元のパン屋さんとして、高齢化率が高い地域の「食」を支える工夫を教わりました。

また、店主の「パンへのこだわり」と「経営について」や 「これまでの商品」のことを教わりました。



技術指導、商品開発のステップは、実際に生地作りをしながらコツや工夫を 説明していただきました。

商品開発は、個別に相談し、丁寧にアドバイスを頂きながら作り上げていきました。

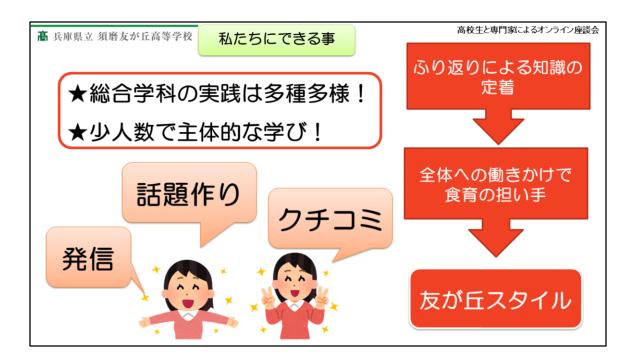
商品名をつけるのも難しかったけど面白かったです・



そして食堂で、私たちが実際に商品開発をしたパンを、週替わりパンとして 販売してもらいました。

3週間の期間限定で各グループの考えた3種類のパンを販売しました。 販売日は、お昼の放送で授業で商品開発したパンを紹介してもらい、生徒玄 関の近くには掲示板で授業のこととパンの紹介をまとめたものを掲示しまし た。

生徒だけでなく、先生たちの間でも話題になり、毎日パンは完売しました。 アンコール販売されることも決定しました。



私たちにできる事は、

学んだ事をしっかりと振り返り、まとめることと、発信し、話題を提供し、 生徒の中で話まくって口コミで広げることだと思います。

総合学科は多種多様な授業を選択するので、

少人数講座で実践的に学ぶことでより深い理解が得られます。

この学びを私たちだけで終わらさないように、授業のふり返りと成果をまとめる活動を大切にしました。

私たちが、発信する側になり、話題作りをし、全校生に対して食への関心を 広げる活動につなげていこうとしています。



これで発表を終わります。 ご清聴ありがとうございました。